

世田谷区立桜丘小学校
校長 東城 良尚様

令和7年度 学校関係者評価委員会

学校関係者評価アンケート結果により分析・改善に向けての提言

《学校関係者評価委員会》

- ◎委員長 稲田 正克：地域、元目黒区立小学校長
植田 圭司：新 BOP 事務局長
伊勢 裕子：保護者
吉良 雅彦：元保護者、元 PTA 会長
菱刈 晃夫：学識経験者、国土舘大学教授
二川 早苗：元保護者、地域、日本家庭教育学会理事長、
元世田谷区立小学校 PTA 連合協議会長
山田 陽和：卒業生

本委員会は学校の提案に基づき、以下の重点目標3点について桜丘小学校へ提言いたします。

《アンケート実施日》

- ① 児童 令和7年 11月7日
② 保護者 令和7年 11月7日 ～ 11月20日
③ 地域 令和7年 11月7日 ～ 11月20日

《回収の方法・回収率》

- ① 児童 学級にてタブレットで回答 (5年 182人、6年 131人)
② 保護者 各家庭で2次元コードを通じて回答 回収率 46%
③ 地域 学校協議委員会の方々へ郵送し、回答後郵送にて回収
回収後学校で2次元コードを通じて入力 45人

【学習指導について】

- ・「学ぶことが楽しい」については、昨年に続き今年も概ね高評価であるが、若干肯定的評価が下がったことが気に掛かる。先生には、学ぶことが楽しいという児童の気持ちを引き出す工夫を引き続きしていただきたい。
- ・家庭学習について、児童は高い評価であるが、保護者は期待値が高いためか、厳しめの評価となっている。褒めることで自主的姿勢が育まれると考える。
- ・キャリア教育について、基本的な教育はなされていると考えられるが、保護者の評価が芳しくない。納得的な保護者への説明が不足しているかもしれない。例えば、キャリア教育の授業参観を設定するという方法も今後検討していただきたい。

【生活指導について】

- ・生活について、例年同様に児童も保護者も高評価である。特に、先生からの指導を理解しようとする姿勢やそれに対する納得感も評価が高い。
- ・早寝早起き朝ご飯の大切さを、引き続き学校でも家庭でも子どもたちに伝える努力をお願いしたい。
- ・挨拶宣言、挨拶運動を通して、自主的に挨拶運動に取り組む児童も増えてきた。挨拶は基本的生活習慣の一つである。今後も意識して進めてほしい。

【学校行事について】

- ・学校行事について、楽しく達成感があると答えた児童の割合が高い。今後は子どもたち自身が自分たちの力でつくっていくということを感じられれば、さらに意欲や達成感が高まると考えられる。子どもの思いや願いを大切にしたい学校行事を引き続き行っていただきたい。

【先生・教職員のことについて】

- ・「先生に相談できるか、相談しやすいか」は、児童・保護者とも経年変化から読み取れるのは、70%で高止まりしているものの、相談しにくいと感じている児童・保護者も一定数いる。相談する場所や機会、カウンセラー制度もあることをさらに周知していただきたい。担任の先生だけではなく、周りの先生にも相談できる環境づくりがあるとよいと考える。

【学校全体・全般のことについて】

- ・学校生活を前向きに捉えている児童が多い反面、「学校が好き」という意識については、学年によるばらつきがみられる。高学年になると学習内容が高まったり友達関係が複雑になったりすることが考えられる。今後も先生や保護者は子どもに寄り添い、励ましの言葉を掛けていただきたい。

【学校からの情報提供について】

- ・保護者からは高評価だが、地域からの評価がさほどでもないのは、ホームページを閲覧する機会が少ないことがその差につながっているのではないかと考えられる。また桜丘中学校関連の情報についても引き続きタイムリーに情報発信を心がけていただきたい。

【学校運営について】

- ・学校運営について概ね高評価である。校長、副校長をはじめ、先生方の努力の賜物と考えられる。今後も児童や保護者から信頼される学校づくりを継続していただきたい。また地域の人々との関わりも大切にするようお願いしたい。

【家庭との連携について】

- ・保護者の学校公開への参加は例年同様高評価であり、学校への関心が高いものと思われる。他方、学校行事・ボランティア・PTA などへの参加は低調であり、今後の課題である。子どもの登下校や校外生活での安全性を鑑みるに保護者と学校との連携・協力が望まれる。

【地域との連携について】

- ・防災訓練、自然災害などでは、地域との連携が必要である。今後さらに相互理解を深め、緊急な対応が必要な時に即時対策がとれるよう努めていただきたい。
- ・6月の桜丘小防災デーに合わせて、保護者・地域の方に防災トイレや備蓄倉庫も見てもらおうなどの企画をして、防災の意識も高めてほしい。

【安全・安心について】

- ・児童・保護者ともに、「安全に気を付けている」は高評価であり、十分な意識付けがなされていると考えられる。学校でも安全教育は実施しているが、自転車の乗り方などの安全性にも十分留意してほしい。令和7・8年度東京都安全推進校を受けての桜丘小防災デーの取り組み、日々の安全、命の安全の研究内容をモデルケースとして広めてほしい。

【その他】

- ・全体を通して、児童は概ね順調に学校生活を送っており、保護者もそれを支えている。学校の取り組みが児童・保護者・地域に肯定的に受け止められていることがうかがえる。他方、自分のよいところに気が付かない子どもの割合が増えている。自分のよさに気づき、友だち関係や学びの楽しさが味わえる学校生活を送ってほしい。学校は子どもたちが安心安全で楽しく過ごせる学校環境作りにさらに努めてほしい。